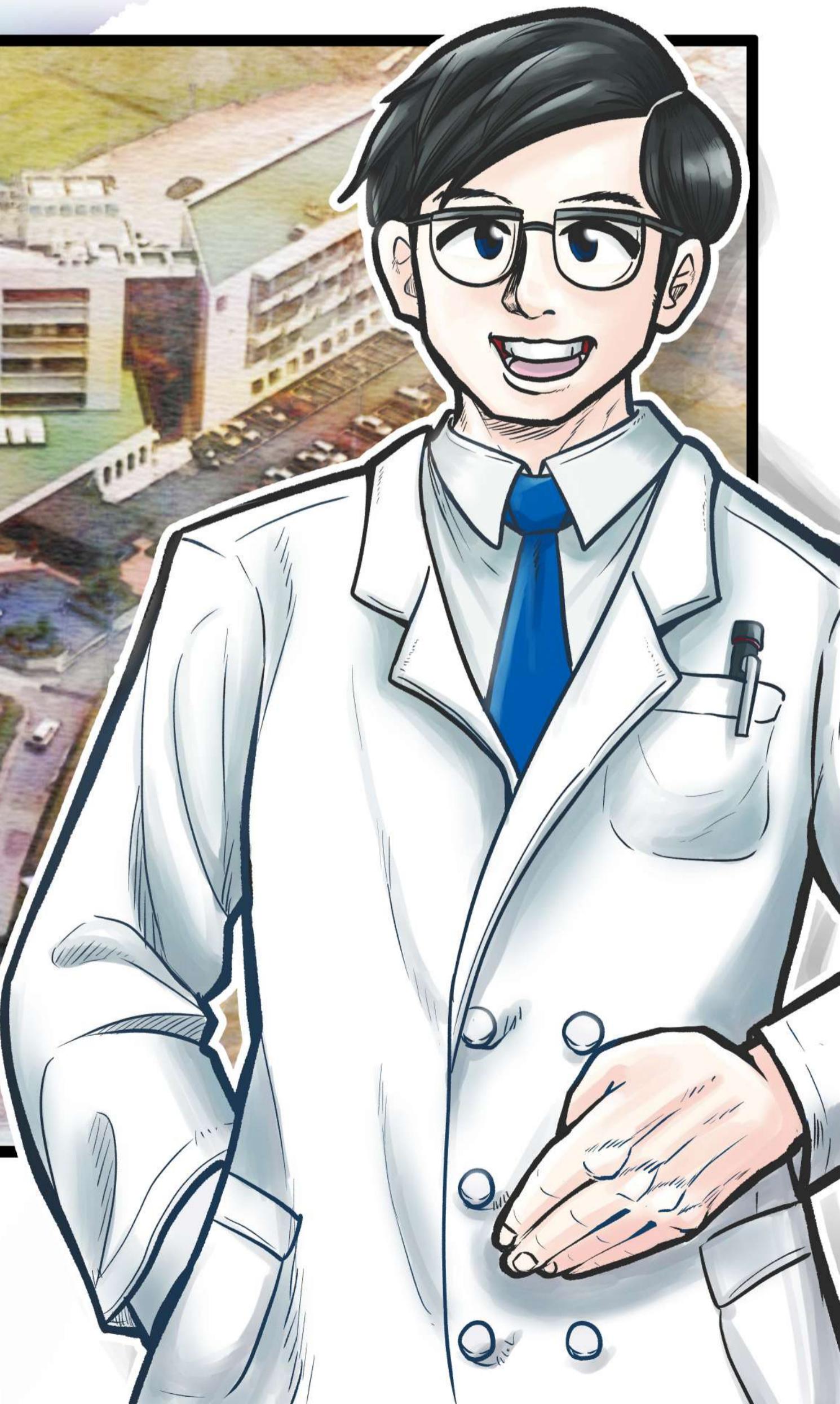


KUMAMOTO
KINOH
HOSPITAL

熊本機能病院物語

KUMAMOTO KINOH HOSPITAL STORY

～米満弘之が描いた夢～



第一章

将来の夢



77年前(1946年)の
熊本県天草…

熊本機能病院誕生
の物語はここから
始まります。

ザーンザーン…



ザーン…



米満 弘之

熊本機能病院の生みの親
(昭和22年(1937年)1月1日生まれ)





ヌタ
ヌタ...



幼少期の弘之は
まだ医療に対しても
興味がなく…



ある日
学校にて――

みんな明日までに
将来の夢について
まとめておくように！

今日の授業は
ここまで！

お前もお父さんと
同じように、学校の
先生になると？

弘之のお父さん
って確か学校の
先生だったよね！

ん――

ただいま――！

「将来の夢」
かあ：









小学生の男の子なら
誰しも傷ついて
出来事でうがち
出しますが、
：：

自分の夢を
「珍しい」と言われ、
かなり驚いた弘之。

「夢を叶えて皆を
アツと言わせてやる！」と
弘之の反骨精神に
な火が点いたきつかけに
なつがたのでしきた。

ここで弘之の心は
折れることはなく
逆に



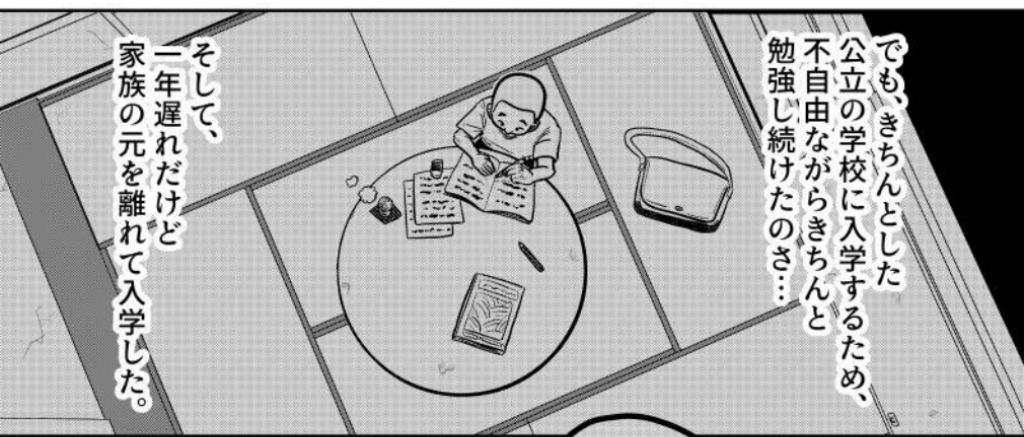


※当時は戦時中であったため、「軍人さん」などが人気の職業でした。



どこかしら
誇らしい表情
に感じる…









本格的な「医者への道」
を歩みだす事となる
のでした…！

そして、3年後の1952年
弘之は、熊本県立熊本高等
学校へと進学を果たし

この坂井さんとの出会いが
弘之の夢をますます固く
していきました。



第二章 医者への道



昭和29年（1954年）
弘之高校三年生――

医者への道も
確実に近づいてきたぞ！

よし！
今日の勉強終わり！

弘之！大変！

倒れて
しまったの!!

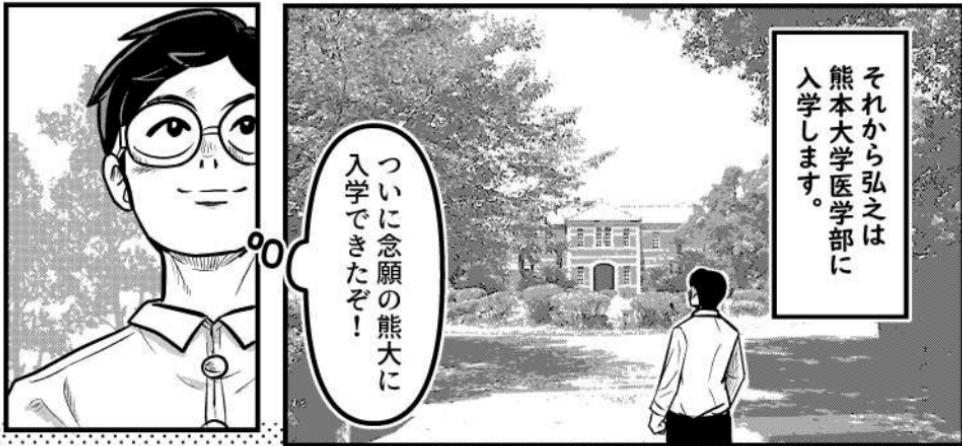
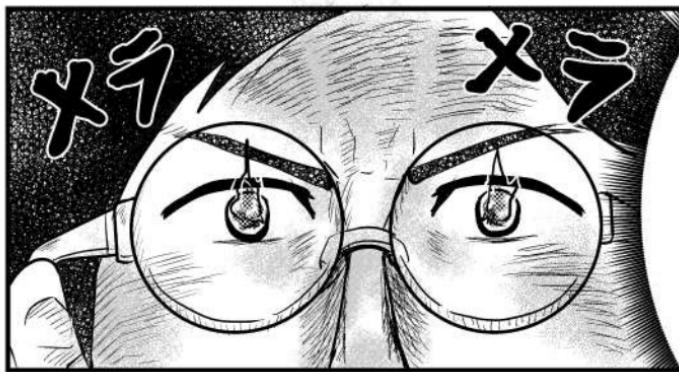
お父さんが…
お母さんが…

お母さん？!
どうしたんだい？





僕が一刻も早く
医者になつて
家族を支え
るんだ!!!



周りの友人と遊ぶ機会も減つて、辛い思いをすることもありましたが…

ありがとうございました！



家族：
そして自分の夢
のために努力を
重ね続けました。



これを続ければ
家族も生活に
困らないはず…！

奨学金があることは
いえ、学費も自分で
まかなえるし…

結構稼げたぞー！！

フウ…
今月も家庭教師2箇所に、
休日は自転車預かり所での
バイトで…



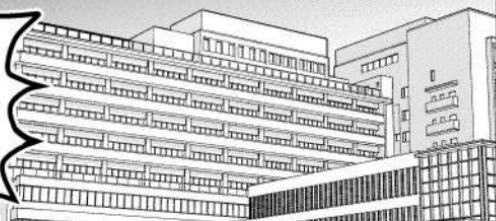
お父さん…

僕が医者になるまで
どうか生きてくれ…！



しかし4年後の
昭和33年（1958年）
弘之大学4年生

お父さー
ーん!!



僕かならず医者になつてみせるから
天国から見ていてね…

お父さん…今まで
ありがとうございます…！

弘之の最愛の父
義光（よしみつ）が
亡くなります。

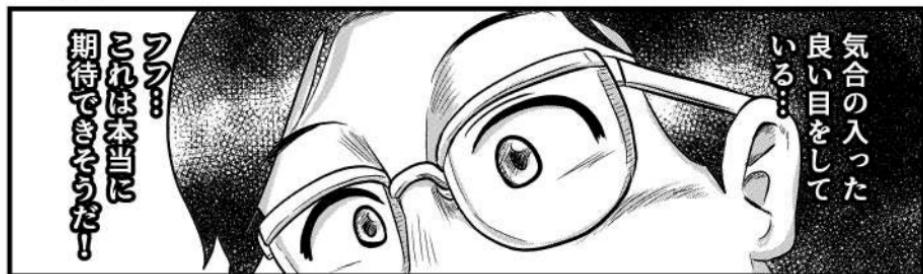






数多い診療科の中から
「整形外科」を選択した事は、
後の熊本機能病院誕生に
大きな影響を与える
「運命の選択」となります。





ハイツ！

こうして弘之の医療人生が
幕を開けました。



第三章

医師としての成長



ついに叶えた
医師の夢――



1966年4月――



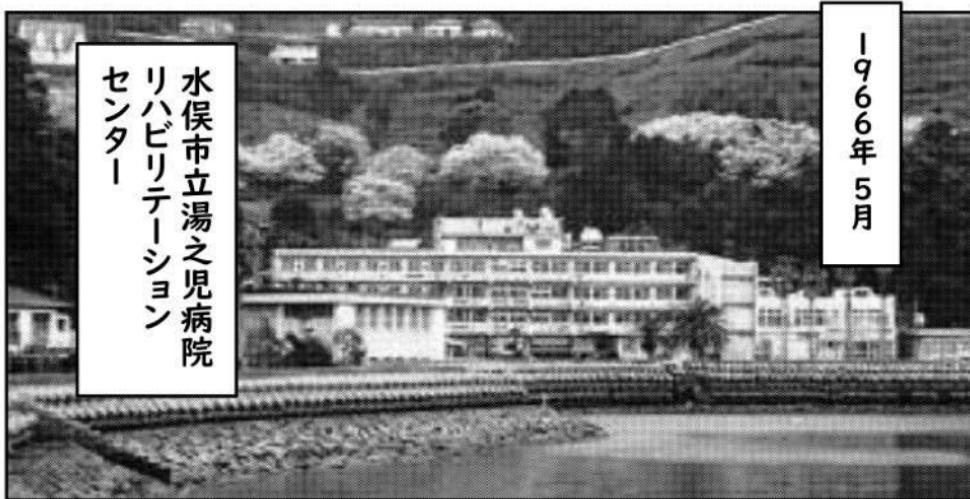
この場所に
行って
直接勉強して
きなさい

良い発見と
学びがあるはず

こ、
ここは
！

1966年5月

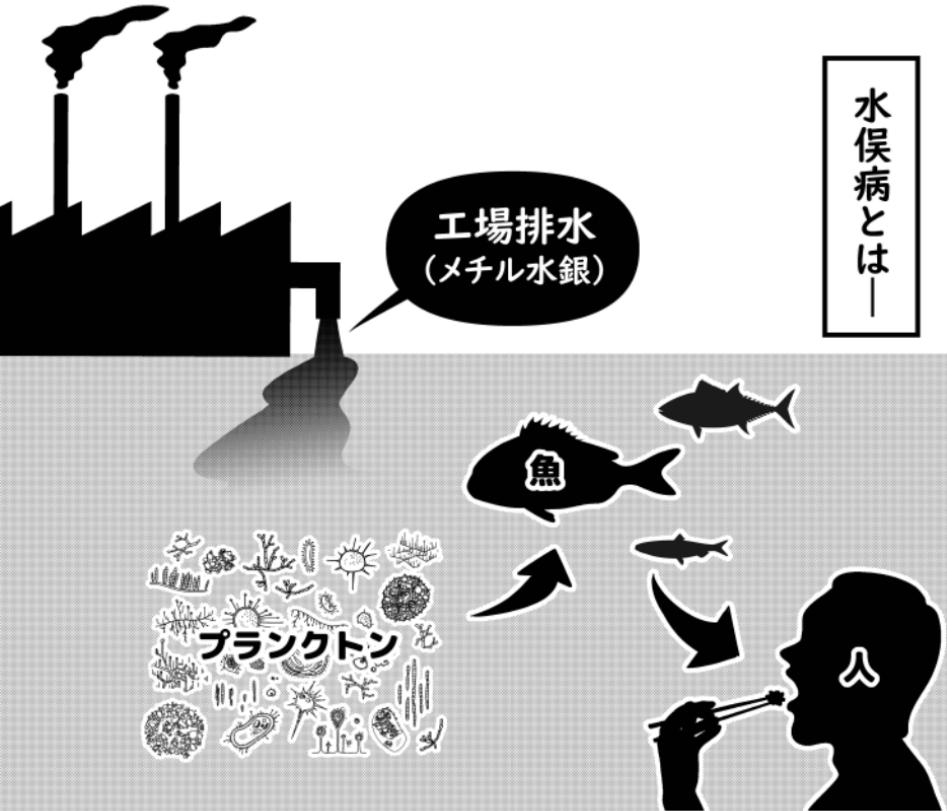
水俣市立湯之児病院
リハビリテーション
センター







水俣病とは――



工場から流れたメチル水銀に汚染された魚介類を長期間たくさん食べることによって起きる中毒性の神経疾患です。

メチル水銀は毒性が強く、血液によつて毒素が脳に運ばれ人体に著しい障害を与えます。

汚染された魚を直接食べていなくとも、妊娠中にお母さんが汚染された魚をたくさん食べると、メチル水銀がへその緒を通じて赤ちゃんの体内に入り、赤ちゃんが水俣病になつて生まれてくることがありました。

※なので、親からの遺伝によって子供が水俣病になるわけではありません。
胎児性水俣病の患者さんはお母さんのおなかの中にいるときにメチル水銀によつて障害をうけたため、脳がうまく発育しなかつたり、脳の神経細胞が破壊されたりして、症状の重い人の多くは、幼いうちに亡くなつたりしました。

歴史の教科書にも登場する
水俣病ですが、
生まれてくる赤ちゃんにも
影響があると知らない方も
多いと思います。

彼（弘之）もこの時まで
水俣病に胎児性のものが
あるとは知らなかつた
と言ひます。



そして、
同時期に国を通して
熊本大学から
「ある依頼」が
弘之のもとに届きます。

上肢運動義手について
開発研究について
【上肢運動義手の
開発研究】…ですか

※上肢帯（肩甲骨や鎖骨部分）
の運動を、義手の制御のため
の力に利用して、
手先具を操作する
構造の義手のこと。



君が
やるんだ！

分か
だろ
う…？

これ…いっ
たい
誰がや
るんだ…？

ムム…





それは決して楽な挑戦ではなく…
熊本大学と湯之尻リハビリセンター
の行ったり来たりの生活を繰り返し
ながら国から与えられた超難題の
任務をこなし続けるという
怒涛の毎日だったといいます。

全部こなして、
日本を代表する
整形外科のスペシャ
リストになるんだ！

こうして彼の新たな
チャレンジが
スタートしました。

このチャレンジの
おかげで医療人として
大きな成長を遂げる
ことができたのです。

喜んでもらえて
先生も嬉しいです！

しかし、決して折れない
強靭な精神力を持つた
弘之は“四年間”その生活
を続け、

せんせー！

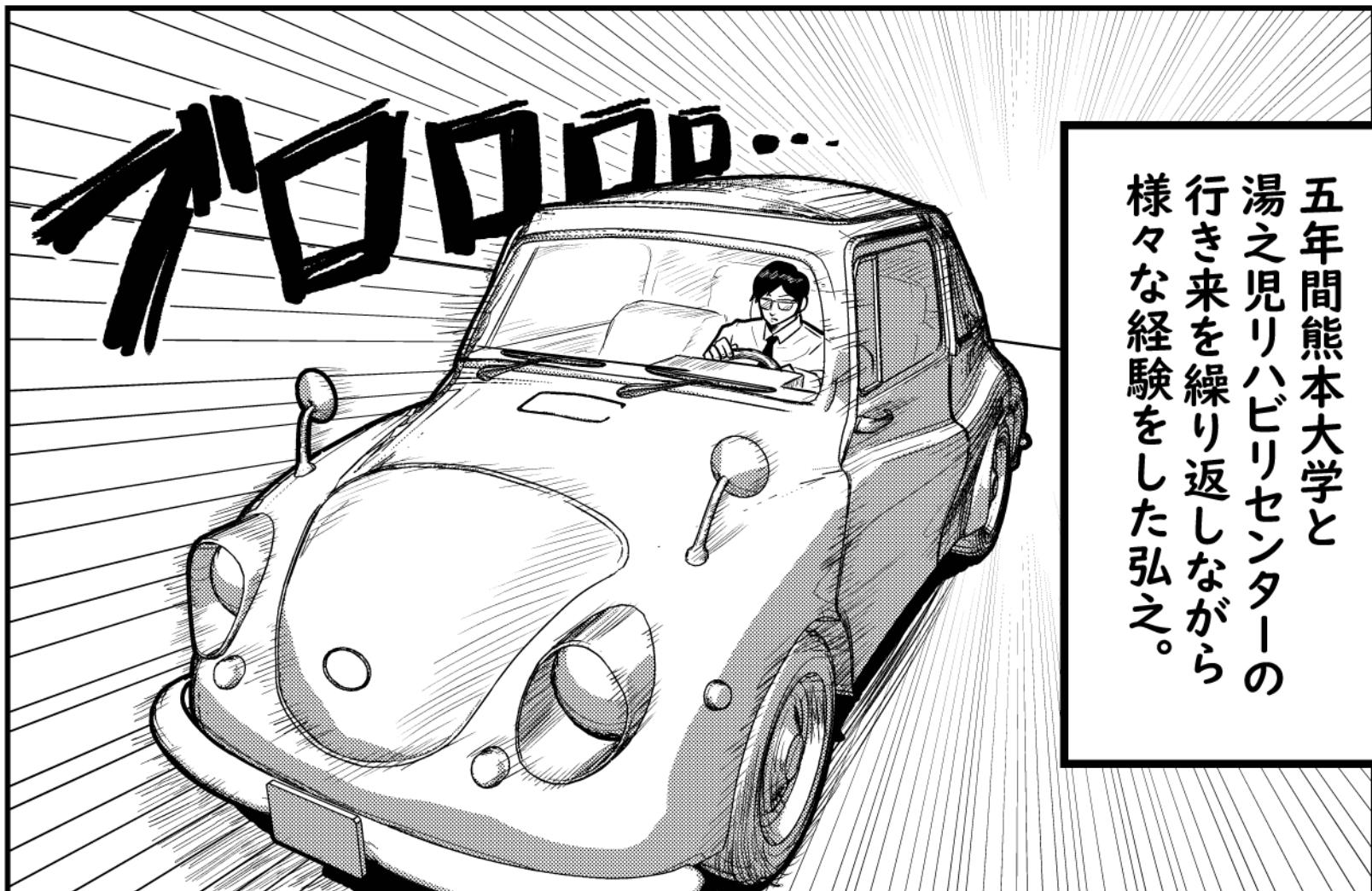
ありがとう！

第四章

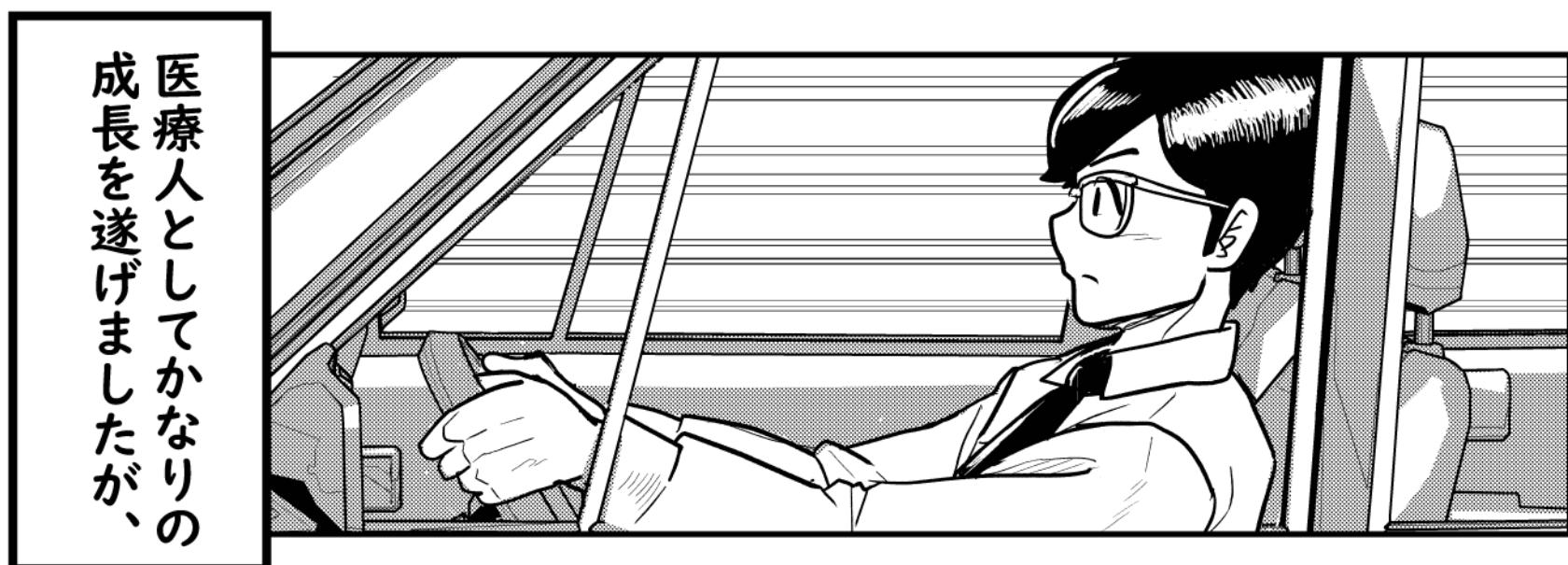
スペシャリストとの出会い



取材協力：株式会社徳田義肢製作所



五年間熊本大学と
湯之児リハビリセンターの
行き来を繰り返しながら
様々な経験をした弘之。



医療人としてかなりの
成長を遂げましたが、



ここから更に弘之の
リハビリに対する考え方と
義肢技術に影響を与える
スペシャルな人物との
出会いがあります。



澤村先生は、ここ数年間
海外で活躍されている
義手・義足のスペシャリストだ

先日、その澤村先生が
日本に帰国して、
今は神戸大学に籍を

置いていらっしゃるそうだ。



君ならそう返すと思ったよ!
また色々勉強してきたまえ

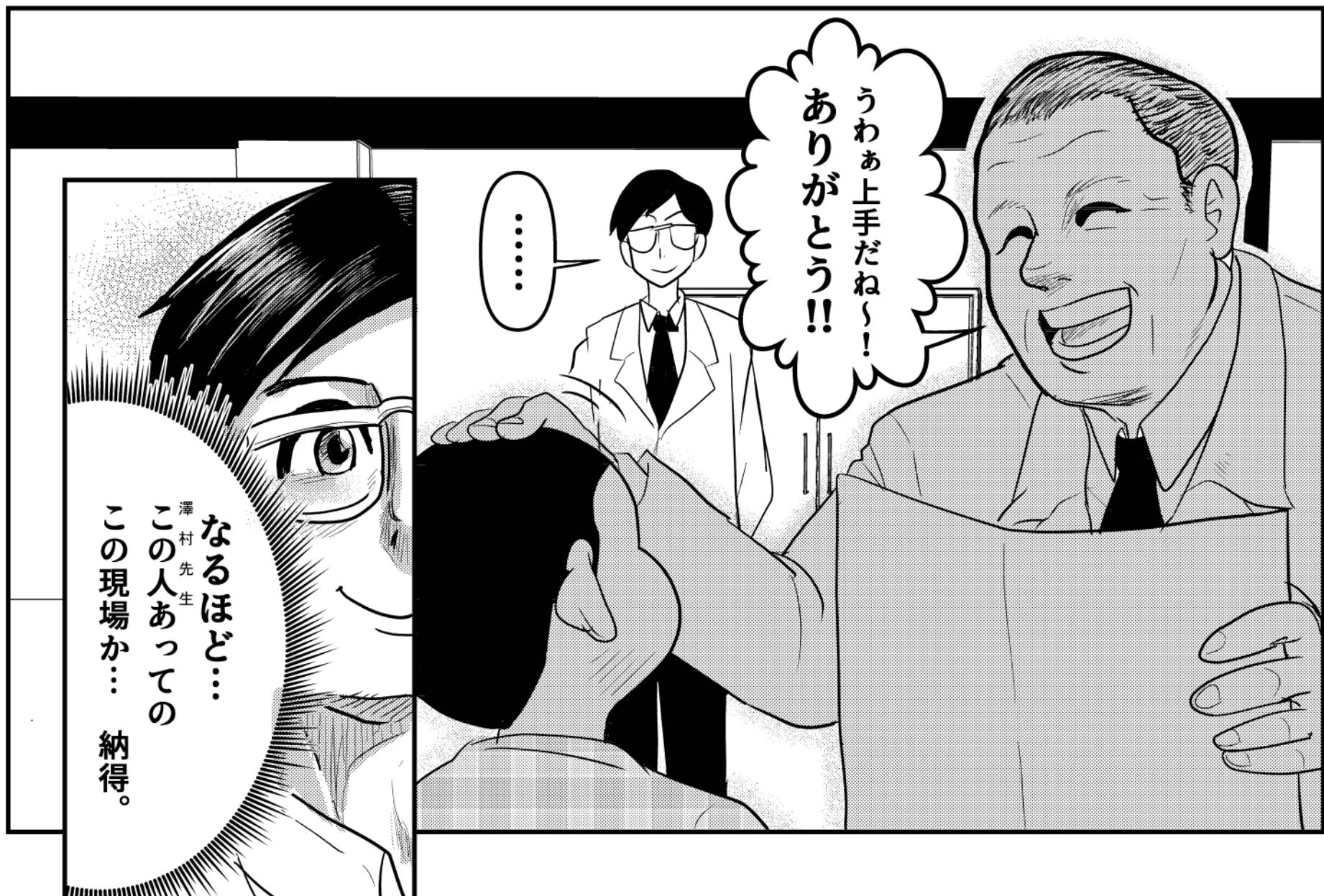
フフ…

ええ!
もちろん!









この当時、リハビリに対する考え方が今と少し違うところがありました。

受傷してすぐに訓練を始めてできるだけ障害を残さないようにする今のリハビリと違い、

「後治療」と呼ばれる当時のリハビリは、手術や事故でのキズが治り症状が固定してから訓練を開始する：というパターンがほとんどでした。



ここから澤村先生の下で多くのことを学んでいく弘之。

そのため、長期間身体を動かせないので、筋肉量が減り、筋肉だけでなく関節の機能も十分に回復しないままになってしまう発症前の生活にはなかなか戻れないという患者さんが多くいました。

澤村先生の義手・義足の技術が現代のリハビリはどう繋がってゆくのか：もう少し見てみましょう。



米満先生、
君に
「切断術直後
義肢装着」
という
技法を
教えるね

切断術直後義肢装着

とは—

①ギブス包帯で
切断端の“型”を
取ります

②型からギブスの
“ソケット”を作ります

③ソケットにバイロンを取り付け、
仮義肢をつくります

これは切断手術直後に
手術台上でギブスソケット※
を装着させて—

※切断後の残された脚の部分である
「断端(だんたん)」を、適切に収めて
義足に力を伝えるための重要な部分です。

④完成させた仮義足でリハビリ
を開始させます

これに予め用意した
バイロン※を主とする
義足部品を取り付けて
リハビリを早期開始
させる方法です。

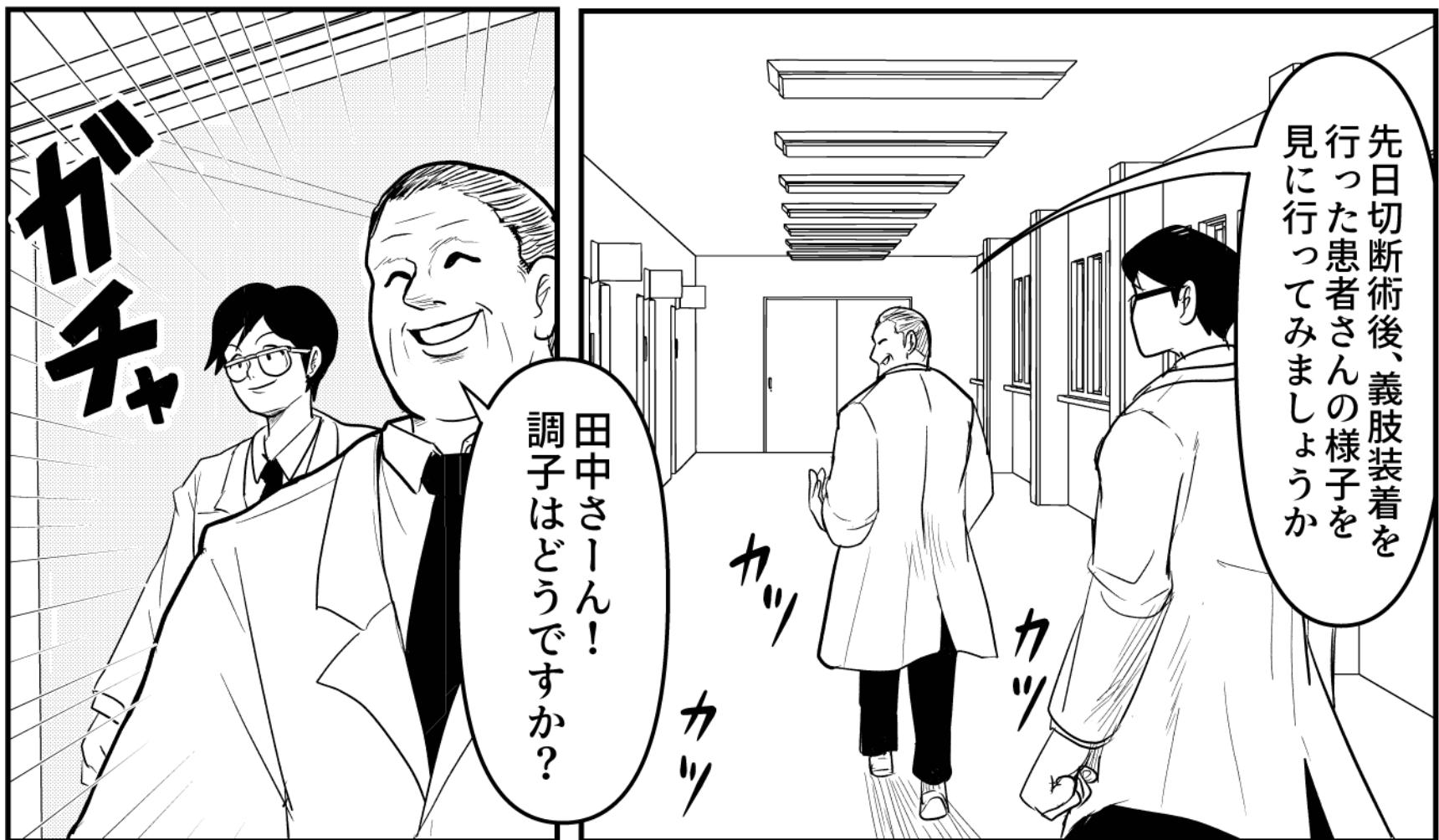
※金属のパーツを組み合わせてつくる、
人間の「骨格」にある部分のこと

この方法は
これから
切断手術直後
において主流に
なってくる
はずです。

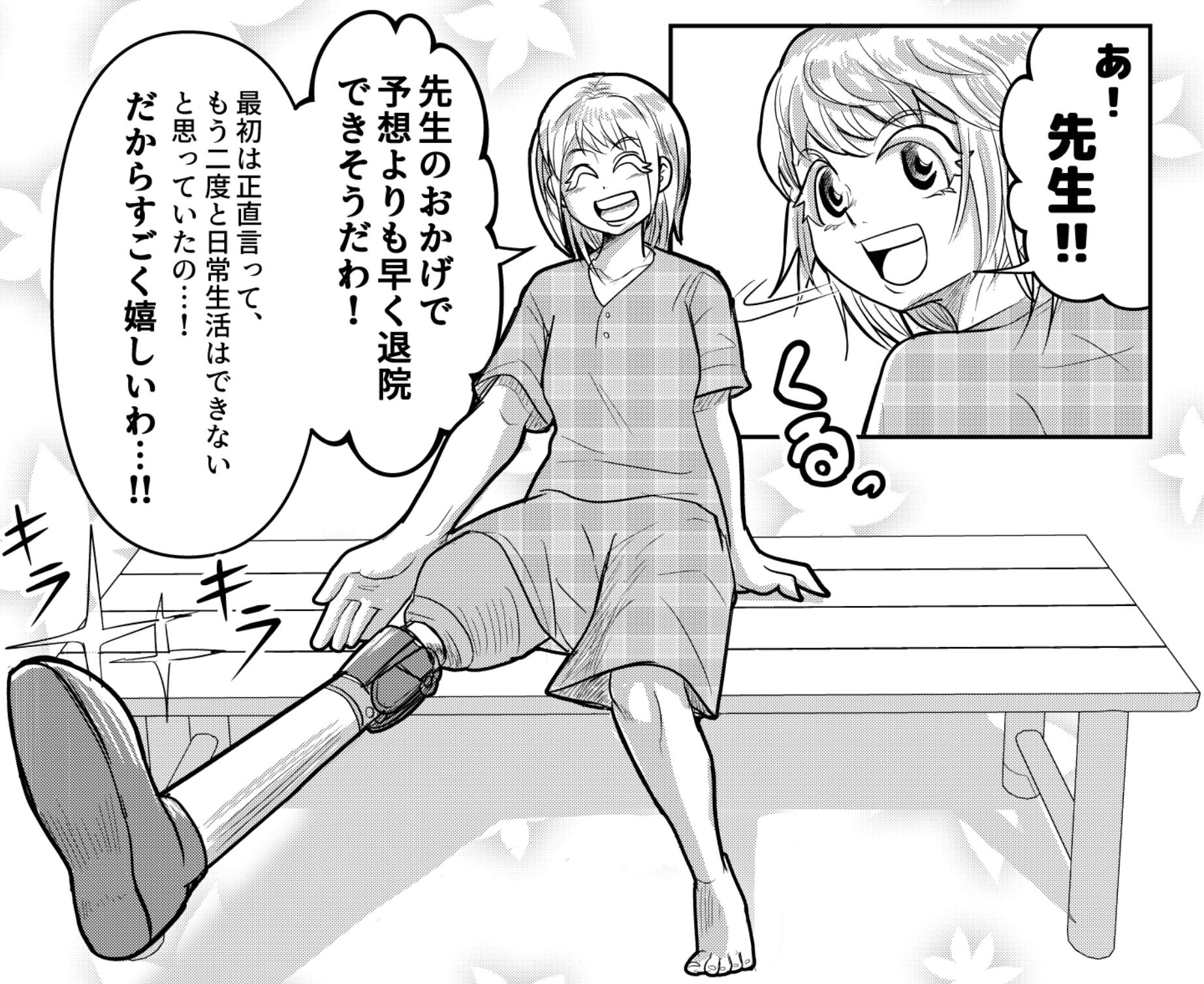
その通り、患者さんにストレス
にかけないことがリハビリ
において大事ですからね。

なるほど…!
早期にリハビリに取り組むことが
できるので、日常生活に戻れる
時間が通常の手術と比べて
圧倒的に早くなりますね！





先日切断術後、義肢装着を行った患者さんの様子を見に行つてみましょくか



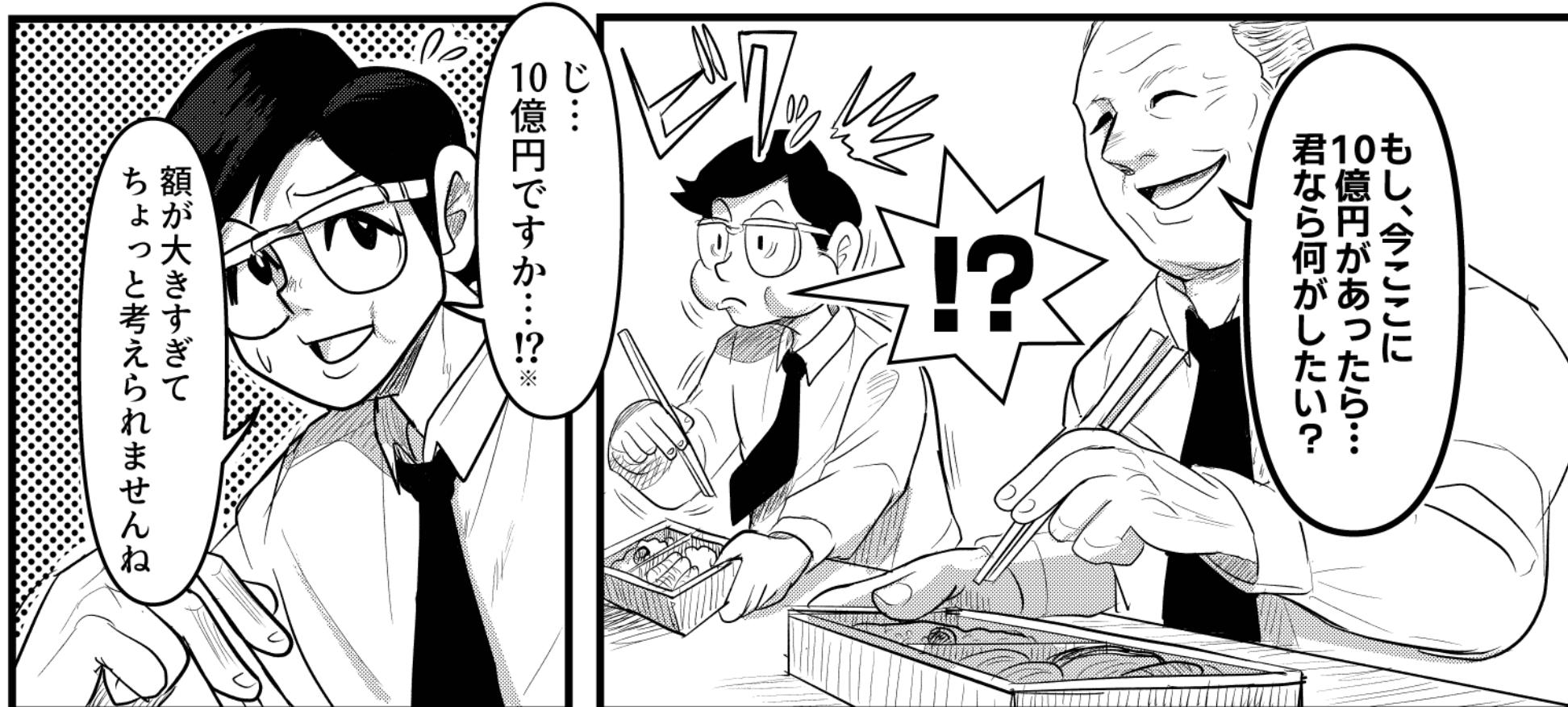
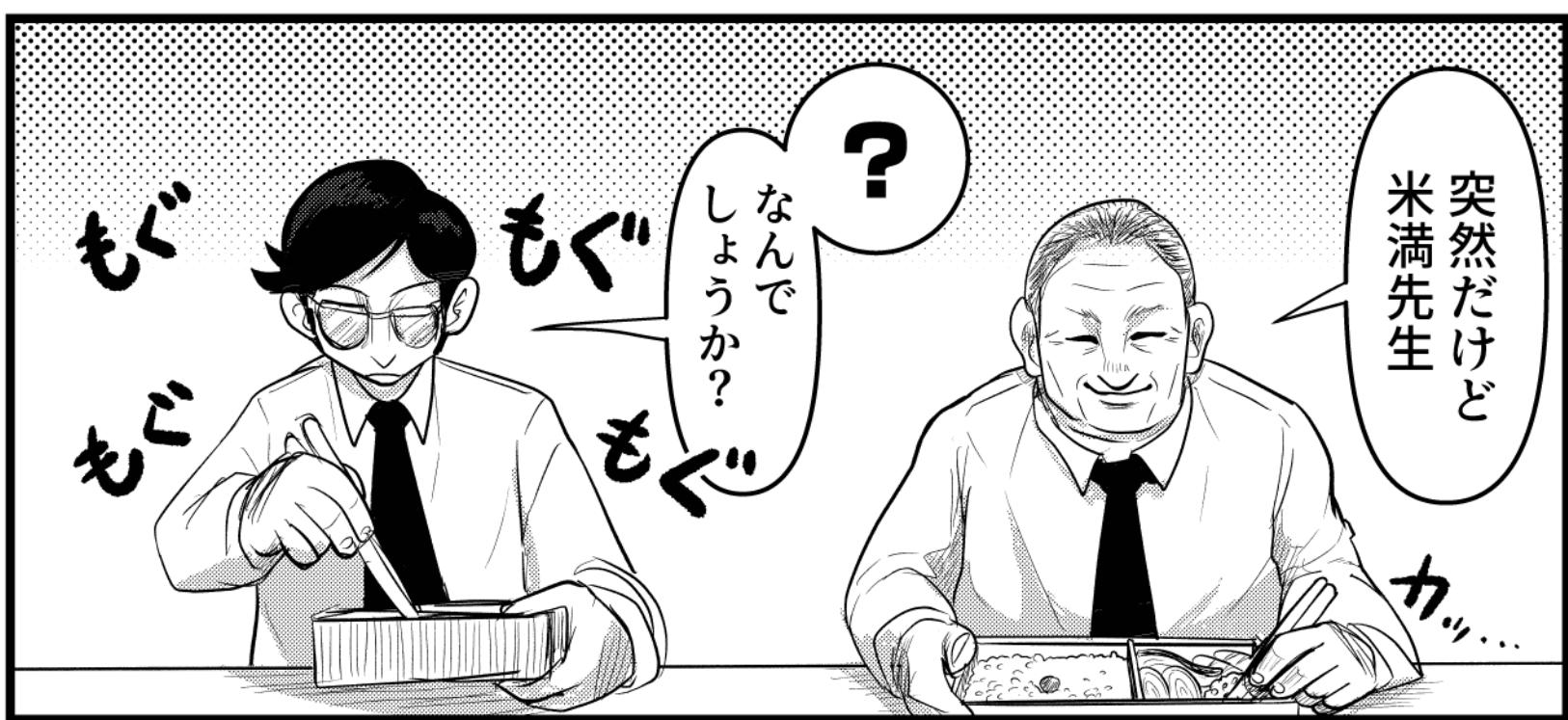


第五章

熊本機能病院誕生

のヒント





※今だと数千億円



熊本に帰ると――

私はこの数ヶ月間、澤村先生の下で多くの手術、そして義手・義足の製作にかかわってきました。

でも、中には治療がうまくいけば手足を切断せずに済んだのではないか：そう悔いが残る患者さんもいました。

それ以前に災害事故で大怪我をしても、最終的に手足を残して使えるようにする…
補完する義手・義足ももちろん大事ですが、

整形外科医としてリハビリより先ず“このこと”から極めるべきだと気づいたんです。

私は…
だから
玉井先生

米満先生長い期間
お疲れ様！

随分と遅しく
なったな！

見た目だけではない…
何かつかんで
来たようだね。

顔を見れば
分かるよ。

はい…！

!!
お!

切れた手足を
再接着できる医者に
なりたいのです!!





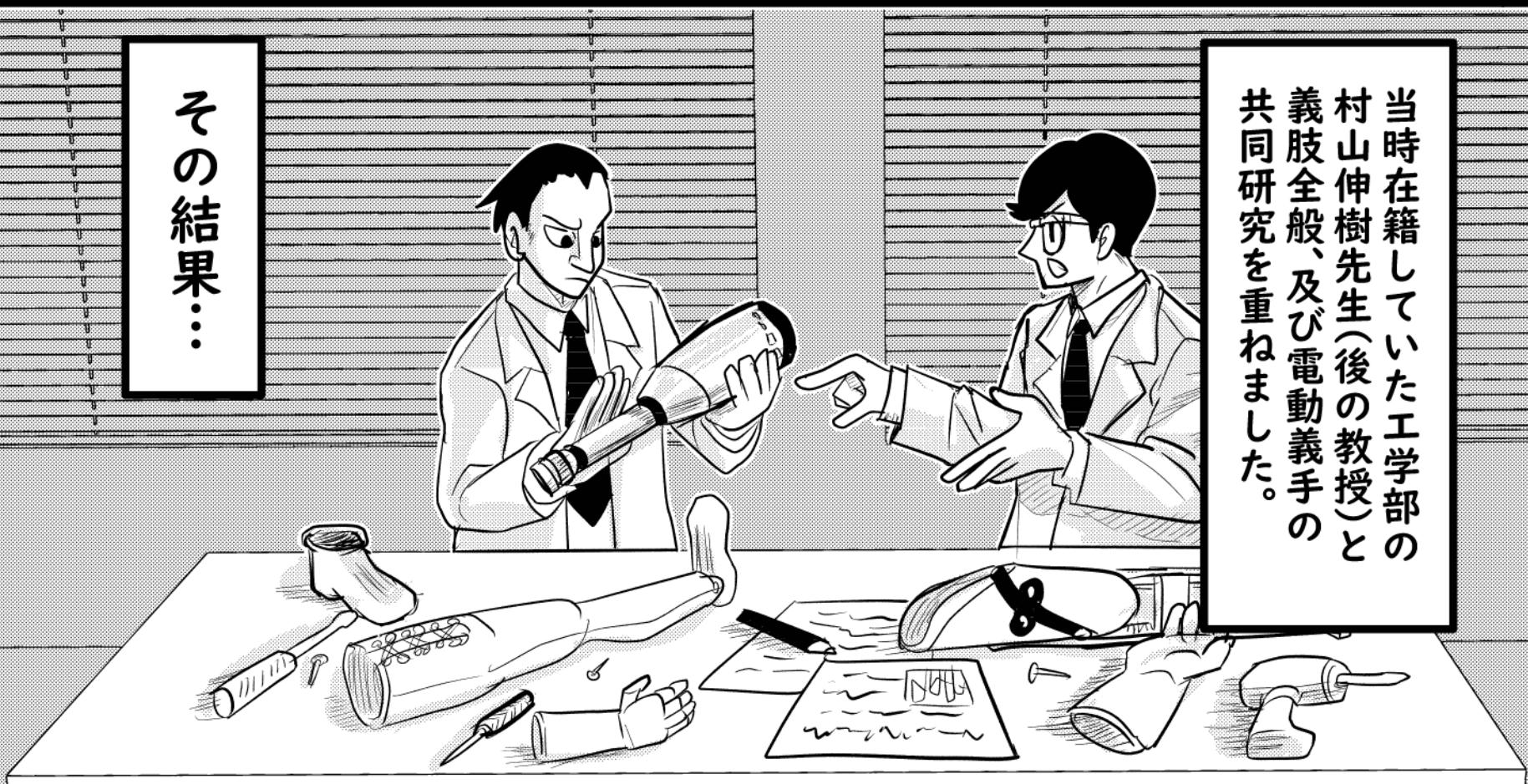
しかし、この薬は妊娠初期の女性が服用すると
産まれてくる子どもに手足や耳、内臓の欠損が見られることがありました。

※日本では、1958年から睡眠薬「イソミン」として発売していました。
サリドマイドの科学より引用
<https://sekatsu-kagaku.sub.jp/thalidomide-science.htm>



その結果…

当時在籍していた工学部の
村山伸樹先生(後の教授)と
義肢全般、及び電動義手の
共同研究を重ねました。





ある日――

奈良県立医大の先生が
世界で初めて切断指を
繋いだそうなんですね！

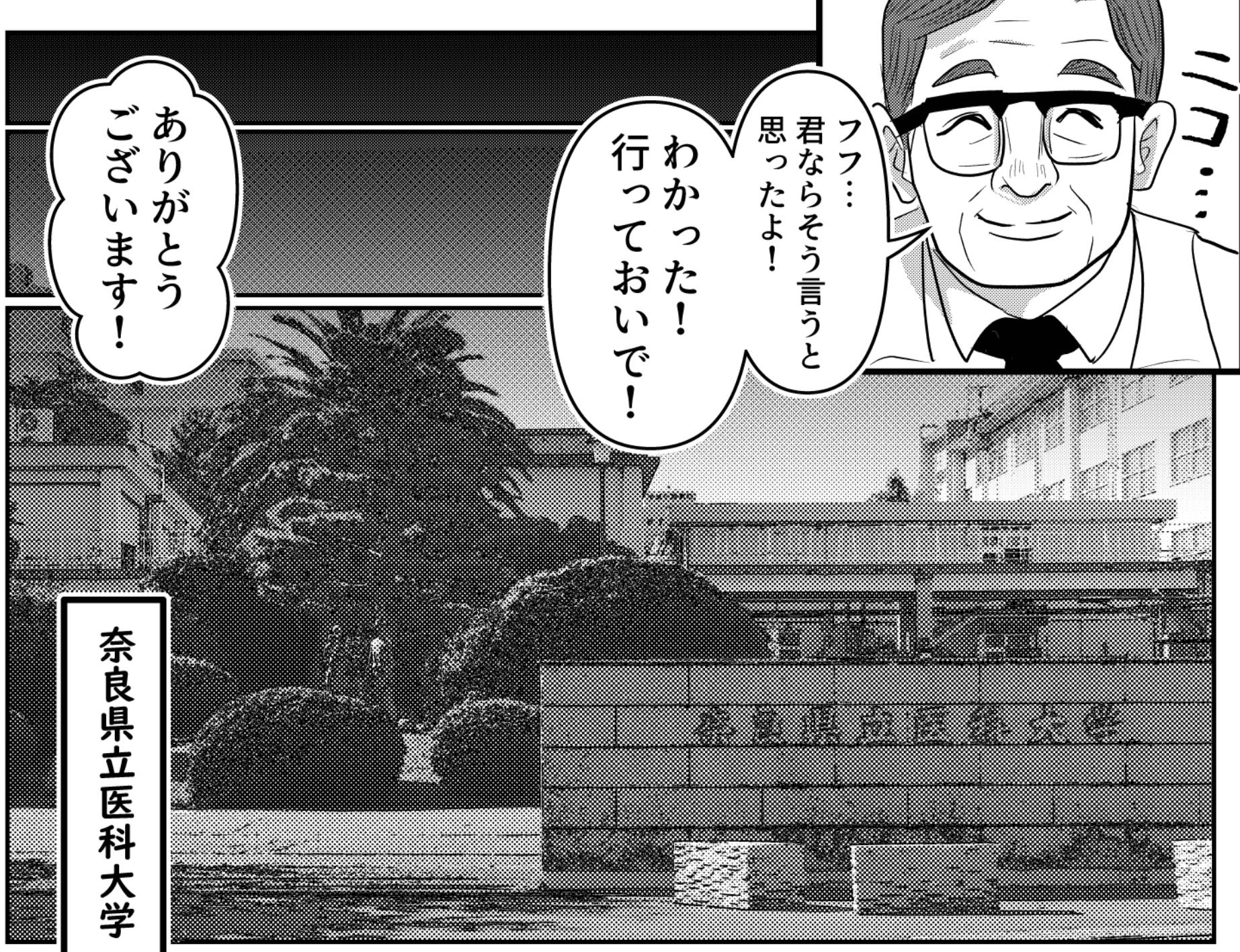
玉井先生ー!!

そんな輝いた
顔で来ると
いうことは…?
ど、どうした
んだね?
米満先生!?

これは世界的な
ビッグニュースですよ!!

ぜひ！奈良県立医大の
先生の元へ私を紹介
していただけないで
しょうか？

うん…



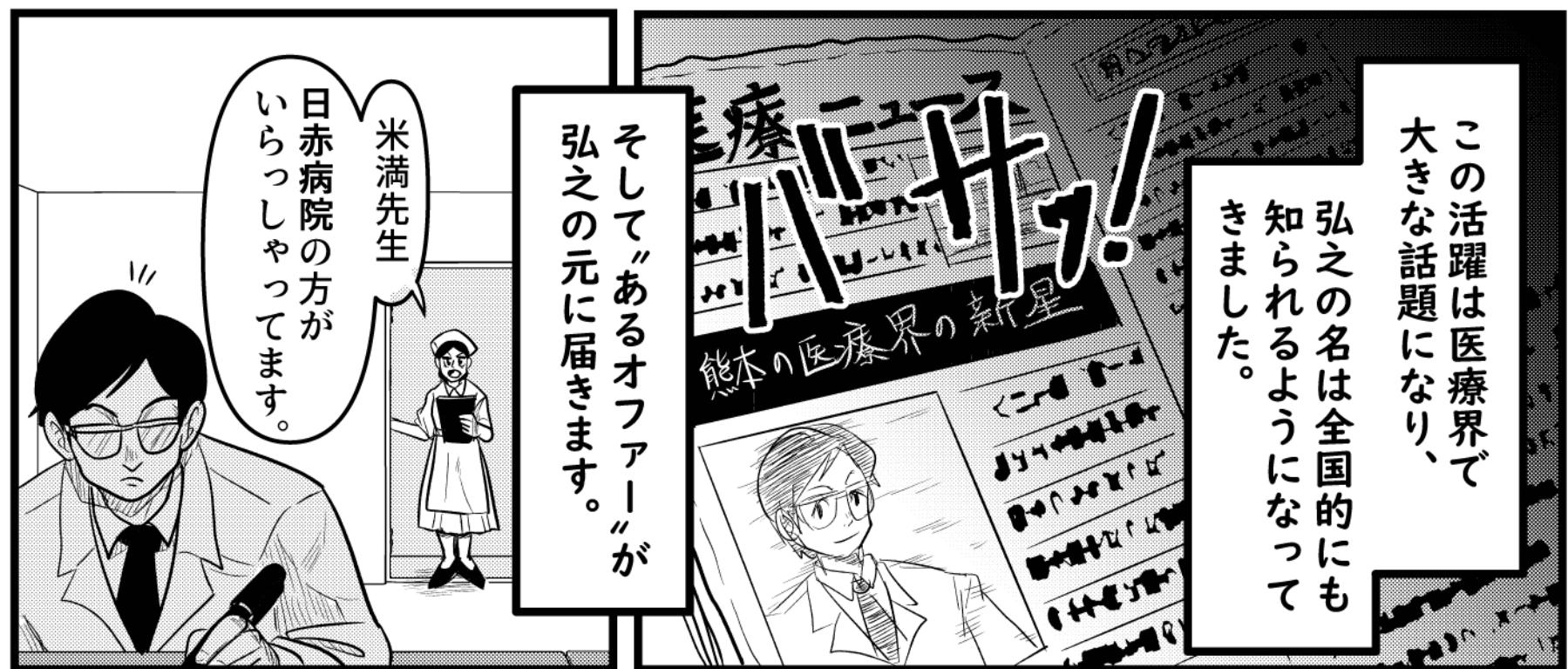
奈良県立医科大学



技術を学び、熊本に戻ってきてからは
大学病院で特別に許可をもらい
「切断肢再接着手術」の執刀にあたり、
多くの人の手足を繋いでいきました。



すぐに奈良県へと飛んだ弘之。
そこで再接着技術を実用化させた
玉井 進先生と出会い、Microsurgery
の世界に没頭しました。



この活躍は医療界で大きな話題になり、弘之の名は全国的にも知られるようになつてきました。



そこ、「整形外科部長」として切断肢再接着手術で実績のある米満先生に来ていただきたいのです！



はい、そうですが…何かありますか??

確認なのですが、外傷センターと同時に「リハビリテーション科」の部署も作られる予定ですかよね？

おお！ありがとうございます！

わかりました
引き受けましょう。

私はリハビリと整形外科は切り離せない関係だと考えています。

この2つを両立させてより良い治療を患者さんに受けてもらいたい。

そこで
私をリハビリテーション科の部長にもしていただけませんか？

わかりました！
ぜひリハビリテーション科の部長としてもお願いします！

こうして弘之は整形外科部長と同時にリハビリテーション科の部長にも就任しました。

しかし、これがある物議を醸すきっかけとなります

更に、就任するとすぐにリハビリ専用施設のリハビリテーションセンターの建設を玄関の横に企画しました。

一九七五年五月

「子病院



リハビリテーションセンターを玄関横に提案されましたよね？

そこはちょっと…

病院の中心部になってしまうので…

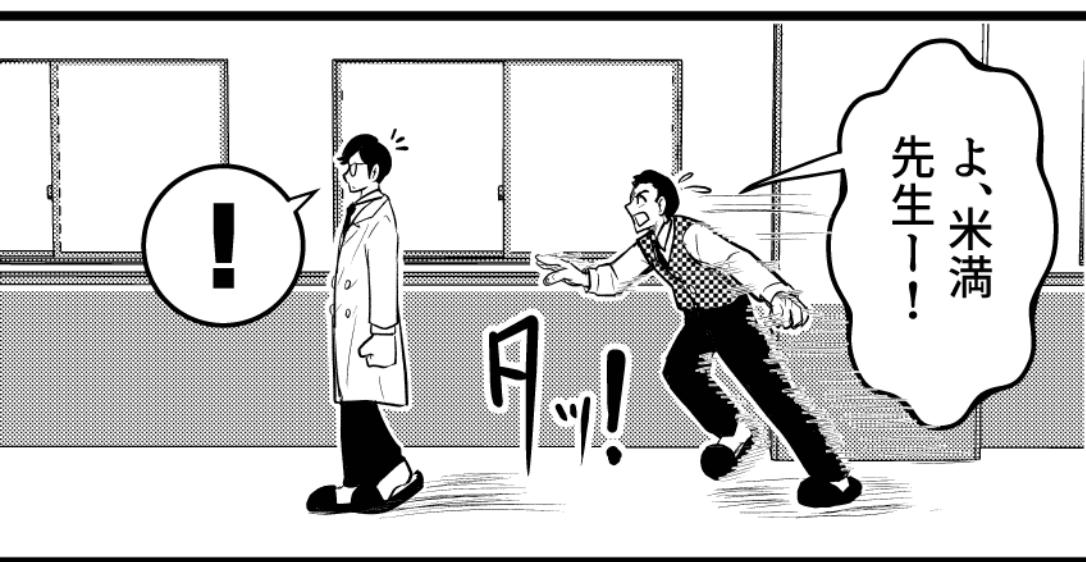


当时リハビリは世間にも浸透してきていましたが、重要性の意識はまだ低く、殆どの病院がリハビリテーションセンターを離れた場所に建てていました。

このままでは
いけない…！

澤村先生も
言われていた：

「リハビリテーション
には救急医療が
なきやダメなんだ!!」



熊本県知事（当時）

沢田 一精

何ですって!?

病院の中に
リハビリテーション
センターをつくる!?

…とても素晴らしい
ことじゃないですか!
県としても応援しましょう!

よーし!これで
再接着手術も!
リハビリも!
義肢の研究も!
全てできるぞー!

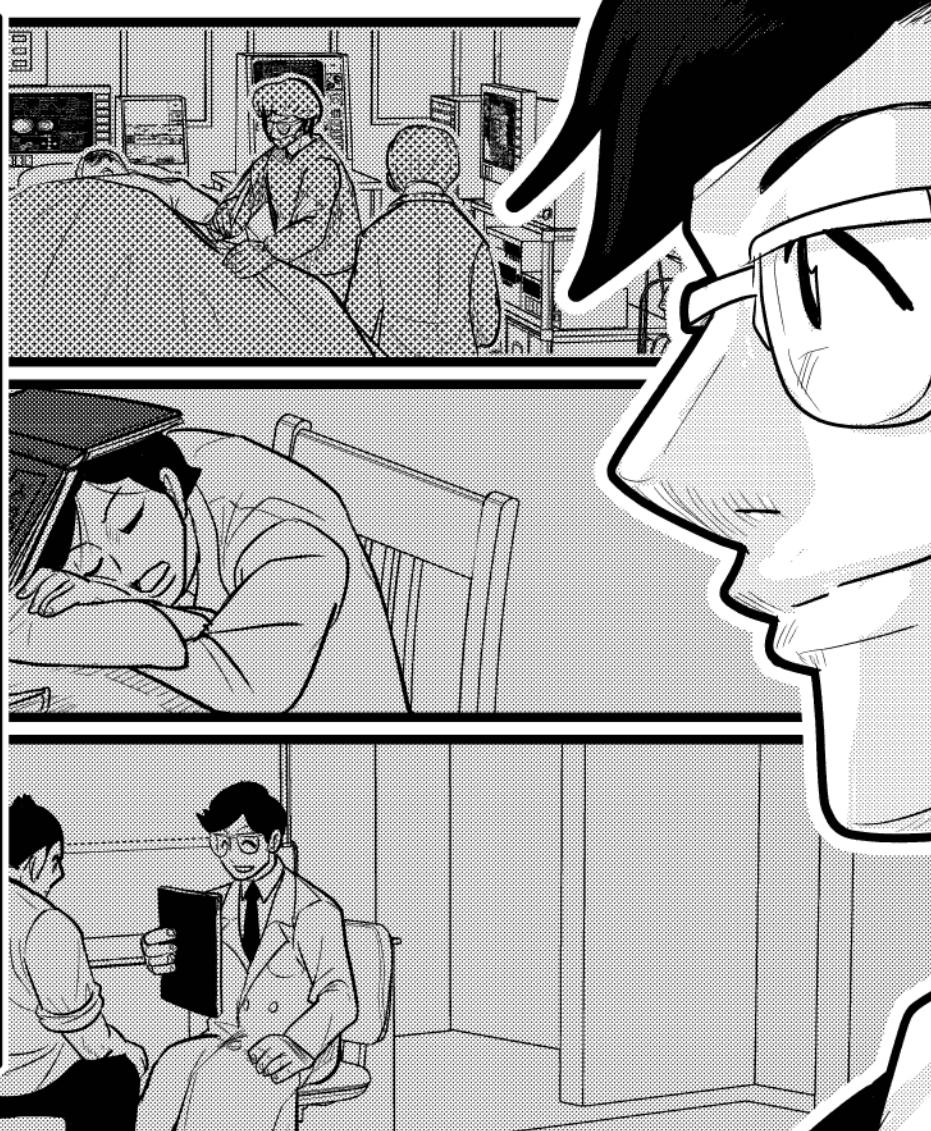


と、いうことで
許可がおりた
んです!

そして日赤で、診察や手術だけでは
なく、研究も同時にこなす
大忙しの毎日がまた始まるのです…!

1975年から1981年までの6年間、毎日毎日
救急医療、それも四肢外傷の治療に明け暮れた。
その間行つた再接着の症例は250症例に達する。

リハビリテーションセンター
を無事設立し、
かたや切断四肢（指）再接着センター
を開設した弘之。



第六章

熊本赤十字病院

での日々



当時の忙しさを物語る面白い
エピソードがあります

大忙しの生活を送っていた
当時の熊本赤十字病院の
医師たち：

—1975年—



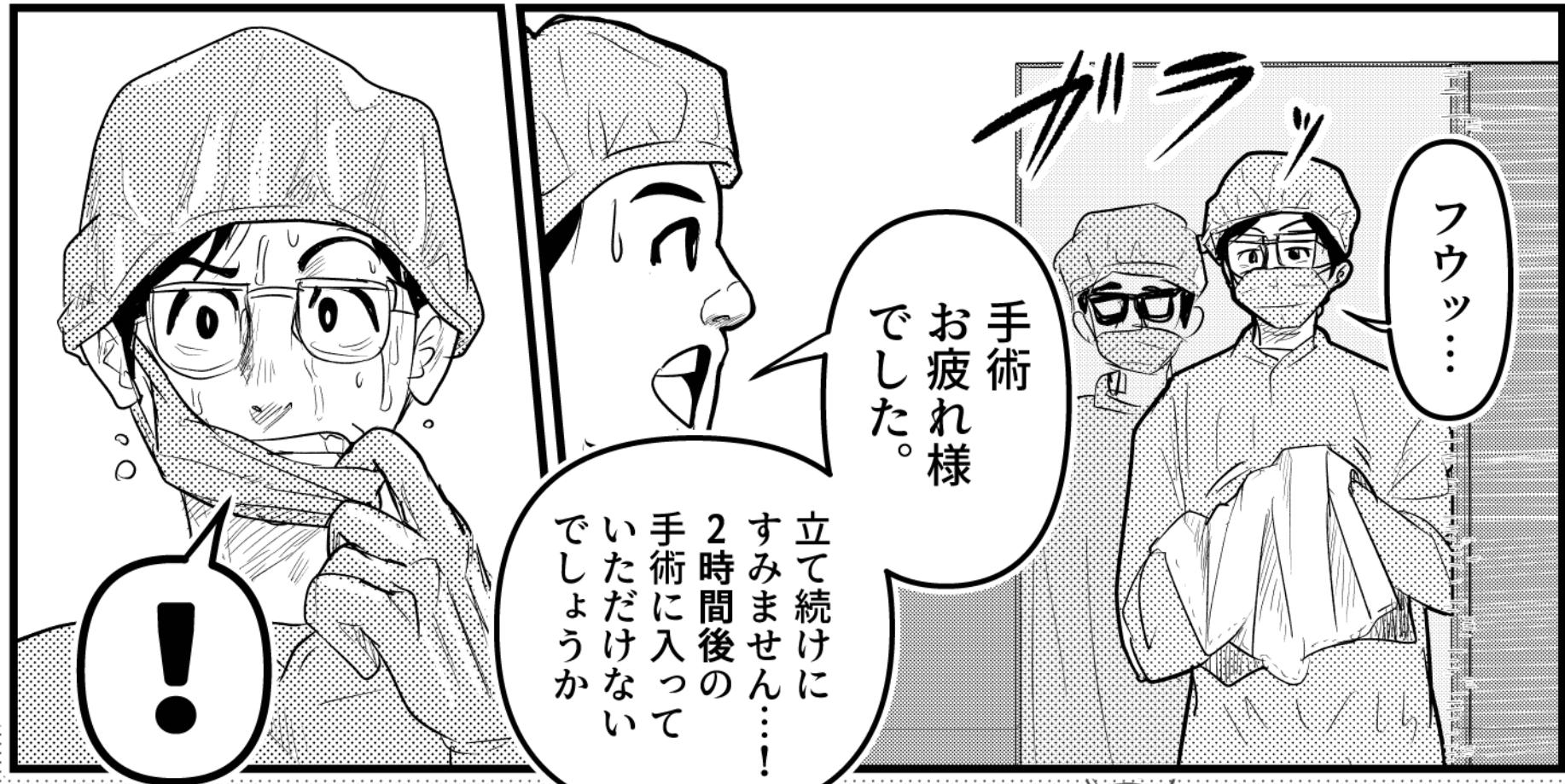
熊本赤十字病院整形外科メンバー



手術を開始してから
10時間…







中根先生、中島先生、平良先生、
高橋先生ら優秀な仲間の先生
たちと協力しながら困難を
乗り越えていきます。

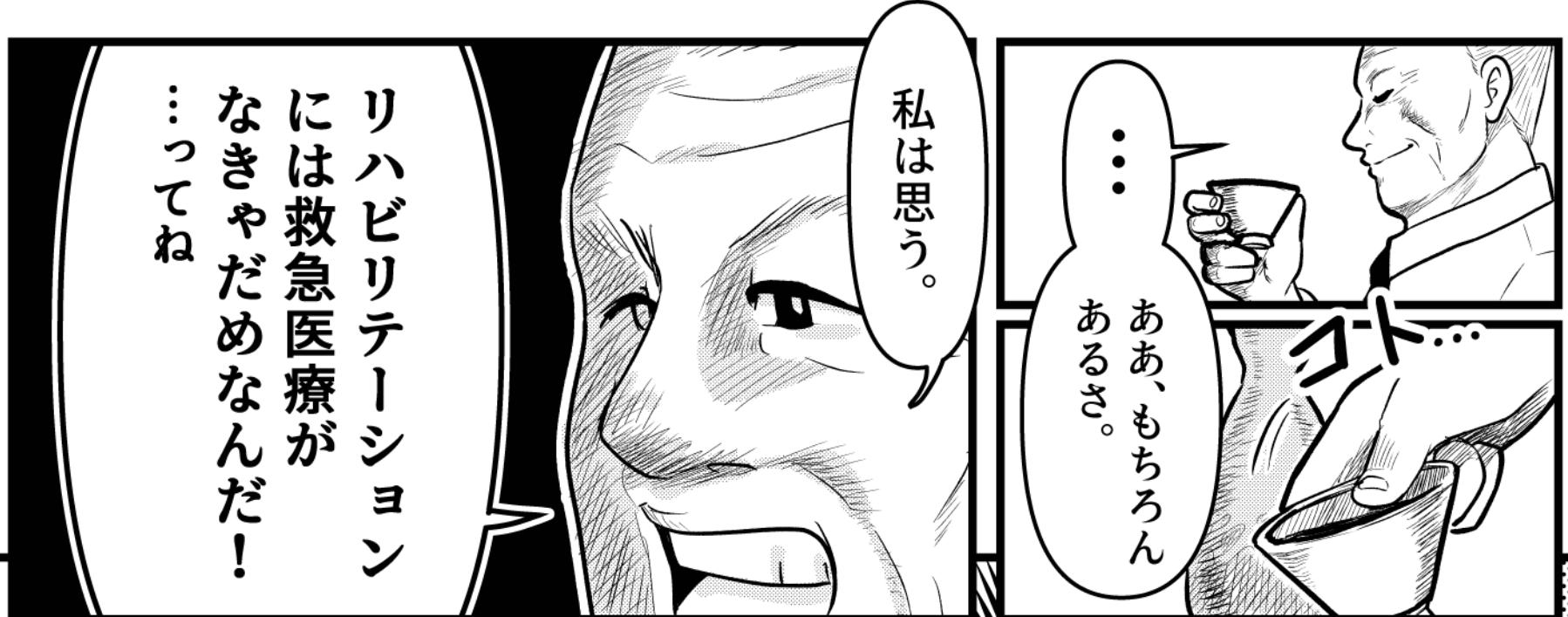
10時間以上かかって再接着手術、
その後また手術：
当時は大変な毎日だったそうですが







：澤村先生

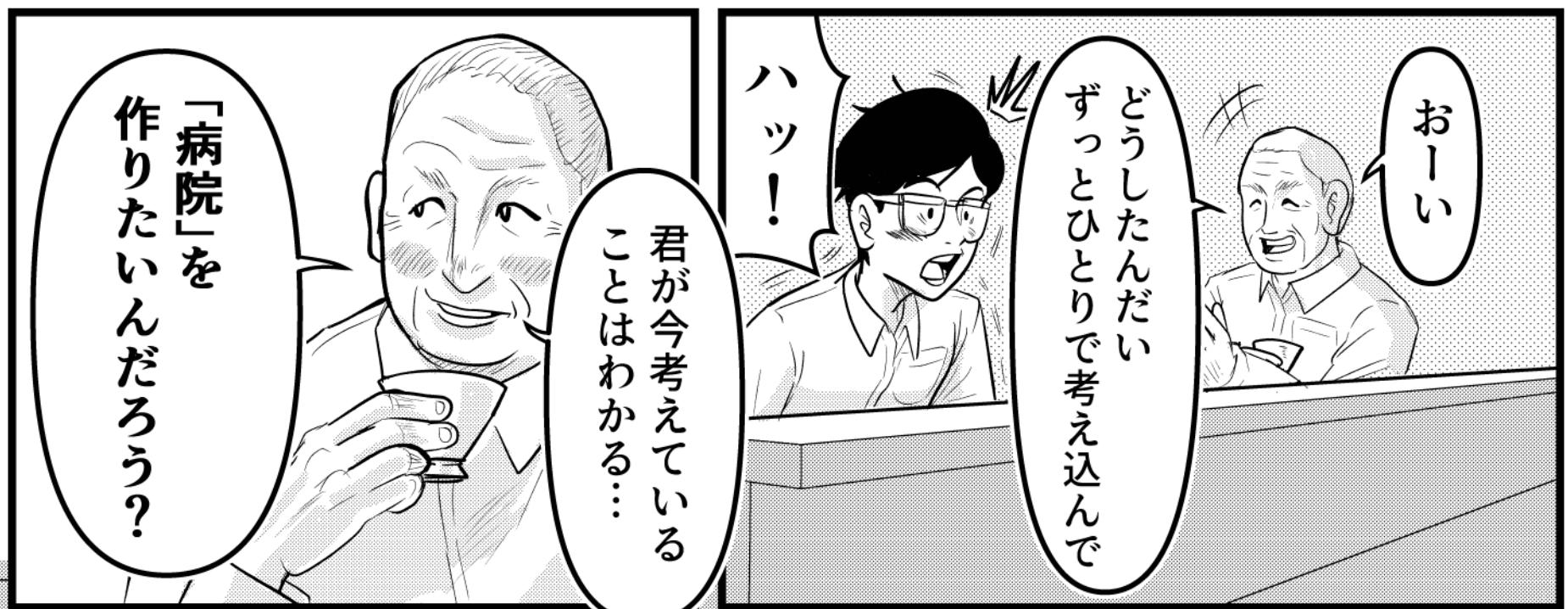
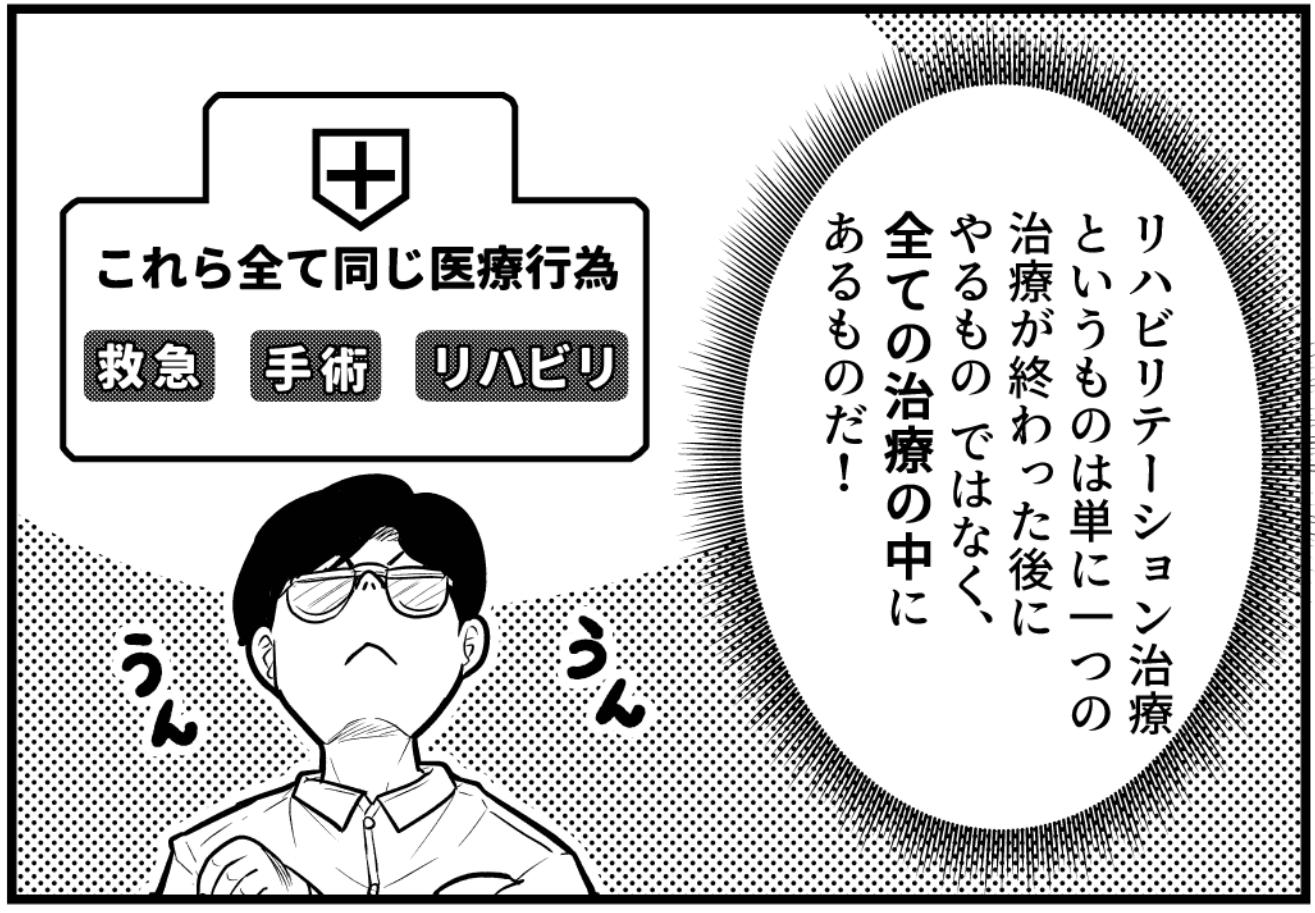


リハビリテーション
には救急医療が
なきやダメなんだ！
：つてね

外傷治療（救急）とリハビリ
は別と考えがちだが、
治療の流れの中のひとつだ！

やはり
私の考えは
間違って
いない…！









作者

ノゾエタカフミ NOZOETAKAFUMI

熊本県を中心に活動する
漫画家・イラストレーター。

魅力ある歴史を伝える「漫画」や
親しみやすい「キャラクター」
など：幅広い分野で制作活動を行って
おります。

子どもが2024年1月に
生まれ、パパとしても現在
活躍中。



【ノゾエタカフミwebサイト】

<https://www.nozotown.com/>